

三軒屋コース

南コース・北コース共 距離／約1.5km 所要時間／約45分

幸せ集う夢がかなう町 三軒屋のなりたち

この地に人が住むようになったのは明治の初め明治4年(1871年)、挙母藩の帰田法により、藩士の永山、三宅、某氏が移住した。その後、永田、斉田両氏に代わったが、数十年に渡り三軒の居住が続いたので、近在の人々は「三軒屋」と呼び、地名となった。

住んでみたいな夢のある町 三軒屋



① 三軒屋区民会館 (三軒町5丁目)



昭和30年から40年代の高度成長期に、当区も商工住宅地域として変貌し、戸数も700戸となり、昭和54年に30年先を見据えた区民会館を建設し、現在に至る。

② 秋葉神社 (大社) (三軒町5丁目)



この神社は正殿と両側に二社祀られている。正殿は明治の初め挙母藩藩士の永山氏が入植の際、勧請しました。この正殿は安城市の東畑村より買い受けたものである。2月に春祭り、10月に秋祭りがある。

③ 三軒屋公園 (三軒町5丁目)



三軒屋公園は、国、県の指導のもとに、市の都市計画公園として計画され、地元の住民の深い理解を得て、平成13年に完成した。

④ 八迫山 (三軒町7丁目)



昭和30年前後まで火葬場として使用されていた。現在は小坂八迫山管理事務所において、700件ほどの人が墓地として利用している。

⑤ 衣丘小学校 (三軒町6丁目)

衣丘小学校は、小坂、三軒屋、広久手、広久手町の4自治区を校区として、昭和54年に開校した。平成20年10月29日には、開校30年を祝して、盛大に式典が行われた。

遠山彌初代校長が、開校と同時にみかんの木を250本程(現在は70本程)植樹され、実のなる学校として、現在に至っている。実り多き人生の礎となる学校として、現在も全校児童が10から15名の班ごとに木に名前をつけ、草取りや水やりなど愛情を持って育てている。

秋にはみかんまつりを開催し、収穫したみかんは各自家に持ち帰る。みかん栽培を通し、家族の絆や友達への思いやりなど多くを学び、心豊かな児童の育成に取り組んでいる小学校である。



歴史の香る

散歩みち

朝日丘地域 三軒屋コース



ハイブッドシティ
環境モデル都市 とよた

朝日丘まちづくり委員会

朝日丘地域全体図

孝母城(七州城)
最初の城は衣金谷城で延慶3年(1310年)足利尊氏の家臣中条影長が衣城を築く。のち慶長9年(1604年)三宅康貞が陣屋(桜城)を構え、一時天領となるが、天和1年(1681年)本多忠利が陣屋を継ぎ「孝母」に改名。寛延2年(1749年)内藤政苗が陣屋に広大な城を築城するが、矢作川の洪水で断念。天明2年(1782年)重子山へ移転し、同5年に本丸城郭整うが、外郭は未完成のまま明治4年(1871年)孝母城廃城となり、公売される。



- | 凡 | 例 |
|--------|------------------------|
| 三軒屋コース | 歴史の香る散策コース(三軒屋・小坂コース) |
| 小坂コース | 歴史の香る散策コース(樹木・金谷コース) |
| 樹木コース | 枝下緑道コース(下市場・長興寺・下林コース) |
| 金谷コース | |
| 下林コース | |
| 下市場コース | |
| 長興寺コース | |
| | 陽だまり |

- ① 陽だまり散歩みち(各自治区コース)**
地域の方々が無理なく歩ける身近な散歩道とし、近隣住民が気軽に集い、おしゃべりができるたまり場(陽だまり)をコース途中に設けます。
公園や神社など、トイレや休憩施設があるところを陽だまりとしますが、陽だまりによっては、新たにベンチや東屋などを設置します。
- ② 歴史の香る散策コース**
地域の中でも、多くの歴史的・文化的な地域資源がある金谷～樹木地区、小坂～三軒屋地区を巡るコース。樹木の古い町並み、孝母城(七州城)、毘森公園などの見所があります。「三軒屋・小坂コース」と「樹木・金谷コース」の2コースです。
- ③ 枝下緑道コース**
枝下緑道を經由して下市場～長興寺～下林を巡るコースです。桜並木や水辺などの自然、長興寺をはじめとする寺社などの見所があります。

